

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成30年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月))

施設名	秋川キララホール	指定管理者	秋川キララホール運営共同事業体
指定期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで	担当課	生涯学習推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	306	306	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	72,164	67,391	93.4%	
	事業開催 回数	クラシック 事業 (回)	6	6	100.0%
		提案事業 (回)	7	7	100.0%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	67,049,000	67,049,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	20,500,000	22,479,150	109.7%
		主催事業収入 (円)	23,378,000	19,118,225	81.8%
		自主事業収入 (円)	90,000	48,000	53.3%
		その他の収入 (円)	2,103,000	2,370,158	112.7%
	収入計 (円)		113,120,000	111,064,533	98.2%
	支出	人件費 (円)	36,551,000	39,353,577	107.7%
		施設維持管理費 (円)	29,392,000	31,521,244	107.2%
		運営管理費 (円)	47,087,000	43,622,711	92.6%
		自主事業関係費 (円)	20,000	520,000	- %
		その他の支出 (円)	-	-	-
支出計 (円)		113,050,000	115,017,532	101.7%	
収支 (収入-支出) (円)		70,000	△3,952,999	-	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 1年を通し、計画どおりに開館できました。利用者数については、昨年対比で4,773人減となりました。これは来場者のない撮影等による貸館が増えたためです。</p>	<p>【事業の実施状況について】 主催事業としてクラシックコンサート6件、提案事業7件を計画どおり実施しました。また、その他の事業として、ワークショップ2件、アウトリーチ2件、エントランスコンサート6件、自主事業として「スタインウェイを弾きませんか♪」、「キララホールを使ってみませんか♪」を計5日間行いました。</p>	<p>【収支状況について】 利用料金収入は昨年対比で約112万円の増額となりました。主催事業収入は、対計画比で81.8%となりました。利用料金収入が前年度より上がっていますが、全体収支が約395万円の赤字となったのは人件費と光熱水費が増加したためです。</p>
---	---	---

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 今年度も年間計画どおりに開館することができました。利用者数については、計画を下回りましたが、利用料金収入は昨年度よりも増加しており、利用率の減少ではないと評価できます。</p>	<p>【事業の実施状況について】 計画どおりに主催・自主事業に取り組んでいます。今年度の実施内容も多岐に渡るものであり、市民のニーズに広く対応していると評価できます。また、地域と連携したまちづくり推進事業などにも積極的に取り組み、良好な実施状況です。</p>	<p>【収支状況について】 利用料金収入が昨年比で約112万円増となっていることは評価できます。ただし、主催事業の収入向上が課題となっているため、広報宣伝活動の強化等、引き続き集客に向けた対策を期待します。</p>
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	クレーム処理報告書、アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	ワンストップサービスの提供等により、施設利用者の満足度向上や利用拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13人 人員配置計画、実地、出勤簿	14人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	3人 人員配置計画	3人 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
事業の取組	主催事業・自主事業等の実施により、文化芸術の振興に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	市民音楽団体等への支援・育成事業の実施により、音楽によるまちづくりの推進に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	市民ボランティア等との協働により音楽によるまちづくりの推進に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

事業の取組	市民参画事業(市民合唱団等)の実施により、市民の手による文化芸術の振興に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	会員制度等を活用し、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組としてSNSを活用した、定期的な情報発信を行いました。また、協力員と連携し、事業のポスターの掲示を実施したほか、新聞広告や駅貼りポスター等を活用し事業の広報活動に努めました。 ・支援育成事業として、ポルトガル発祥の最新鋭ワークショップを西多摩地域で初めて開催したほか、昭和音楽大学と連携した音楽生涯学習講座を昨年に続き、実施しました。また、2月に演奏会を開催したキララ合唱団は80人が応募し、実りある公演となりました。 ・アウトリーチの取組として、市内で活躍する「るのママ吹奏楽団」によるコンサートを多摩川幼稚園において開催し、地域と連携した事業を実施したほか、8月にヨルイチミニコンサートを実施しました。 ・音楽によるまちづくり推進事業で実施した「佐藤和哉篠笛コンサート」は完売となり、再度開催の要望が高い公演となりました。また、あきる野ルピアと連携し、平成30年度で4回目となる小・中・高・一般団体が出演するアンサンブルコンサートを開催しました。 ・撮影等の商用利用により、使用料収入は昨年度よりも増加となりましたが、主催事業収入が落ち込みました。来年度は広報宣伝活動や地域連携をより一層強化し、情報発信と地域ニーズに応えられるように努力してまいります。
所管課による所見（指摘事項など）
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知について、今年度は新たな宣伝媒体を取り入れ、積極的に広報・宣伝活動に取り組んでいることが伺えます。今後もチケット販売に結び付くよう、新規の宣伝方法を開拓する等、効果的なPR活動を重ねてお願いします。 ・昨年度に引き続き、音楽生涯学習講座、キララ合唱団による演奏会が実施され、市内の音楽文化の創出に貢献が図られています。また、地域と連携したアウトリーチ公演の実施がなされ、音楽ホールを訪れにくい世代への音楽鑑賞の機会の提供や、市内の音楽家の成長に繋がっていると評価できます。 ・使用料収入の増加は評価できますが、主催事業収入が落ち込んでいる状況です。来年度は増加するよう、地域との連携力を生かしつつ、より一層市民のニーズを取り入れた事業の展開に努めてください。また、広報宣伝活動にも注力し、市民が気軽に訪れることのできるホールづくりに期待します。